

ひっとプラン港北 日吉地区ニュース

地区計画目標

光と活力に満ちあふれる日吉

～一つひとつの活動がひかり、大きな活力に発展するまち～

◇わたしたちが目指すまち

みんな元気で笑顔であいさつするまち 日吉

ひろめよう笑顔たやさず明るいまち 日吉

新しいと なつかしさが繋がるまち 日吉

みんなでたすけあい 災害をのりきるまち 日吉

住んでよかったと思えるまち 日吉

28 年度の取組

1) 日吉町地区 【災害用井戸の発見】

★ほとんどがモーターによる汲み上げだが、災害時には水があるということで心強い。(飲料は不可)

★要支援者宅にタオルを配布し、安全確認の訓練ができた。

2) 日吉宮前地区 【避難所への道のり】

★土地が平坦で危険箇所はほとんどないが、避難経路に自転車等の車両が放置されており、マナー向上を呼びかける必要がある。

3) 箕輪地区 【消火栓を探して】

★消火栓や土砂崩れが心配される場所等を見て回った結果、設備的に少なく感じた。大規模開発の中、防災のあり方を学んだ。

4) 日吉本町地区 【我がまちの発見と空家の実態】

★歴史ある地層の場所に「この地層と土地は私たちの財産」との立て看板を見つけた。

★まち歩きで、まちの再発見につながった。(こども110番なども)

5) 下田地区 【要援護者支援マップを持って】

★災害時要援護者カードを作成したほか、発災時に通行が困難となりそうな道路について、別のルートを考える機会になった。

29 年度の取組

①まち歩きマップを用いたグループワーク

②まち歩きの視点を広げるため、こどもや障がい児者・その保護者の方と一緒に歩いてみる

③危険なよう壁の改善の可能性の検討



いつ来るかわからない大災害に備え、地域住民同士助け合える土壌をつくるのが大切です。視点を変えたまち歩きを重ねて、マップの内容を充実させていきたいと考えています。



「ひっとプラン港北」(地域福祉保健計画)ってなに？

「誰もが自分らしく安心して暮らせるまち」を目指し、地域住民と関係団体、行政等が連携して地域の福祉保健課題の解決に取り組み、助け合いや支えあいのある地域づくりを進める為の計画です。区計画と地区ごとの計画を、区と区社協が一体的に策定しています。(下記のひっとプランホームページ参照)

※ひっと⇒担い手が<ひろがる>、活動が<つながる>、情報・サービス・支援の手が<とどく>の頭文字をつなげた港北区福祉保健計画の愛称です。

計画の内容と進捗状況

計画の柱1【ひろがる】－ 理解と参加のひろがりによる活発な地域づくり －

- ◎地域活動を多くの方に知ってもらうため、情報発信媒体の工夫・改善をしています。
- ◎地区計画の推進をきっかけに、地域にテーマごとの連絡会（分科会）が立ち上がり、共通の課題の解決につながっています。
- ◎「子どもの居場所」づくりへの関心が高まり、子ども食堂の取組に関する連絡会が立ち上がりました。

計画の柱2【つながる】－ 人のつながりで進める安心なまちづくり －

- ◎地域では自治会町内会や民生委員等による挨拶運動、見守り活動等を通じた顔の見える関係づくりや、地域住民などが主催する多様な交流の場づくりが行われています。
- ◎区役所等と地域が連携し、認知症カフェなどの活動が行われています。
- ◎健康づくりや介護予防への住民の意識が高まり、地域でも多くの活動が行われています。

計画の柱3【とどく】－ 支援がとどく仕組みづくり －

- ◎地域では、高齢者のつどいの場づくりが進んでいます。
- ◎高齢者、障がい者、生活困窮者に関する地域と専門機関の連携により、身近に相談できる場所が増えました。
- ◎要援護者等への避難情報伝達システムを導入したほか、災害時要援護者支援名簿を活用した、自治会町内会による支援の仕組みづくりを推進しました。

地域の取組に是非ご参加ください！

お住まいの地域では、まちの魅力の発信とともに対象ごとまたは世代を超えた交流の場づくり等の福祉保健活動が活発に行われています。また、災害時に備えた地域防災拠点での訓練や自助・共助の取り組み、災害時要援護者支援など、地域住民の安心・安全な生活を守る活動をしています。

地域の活動への参加をおし、「ひと」や「まち」とのつながりを楽しんでみませんか？



★計画の詳細は [ひっとプラン港北](#)

[ここをクリック](#)

発行：平成 29 年 4 月

編集：港北区福祉保健課・港北区社会福祉協議会